

連載

- 10 世界のキーパーソン
11 国内人事情報
27 Book Reviewing Globe
40 広告を裏読みする
42 新連載 大往生考
51 西風
63 交差点——読者の声・編集者の声

社会・文化



日本の富豪や愛好家が古来より買い集めた名品が今、中国の爆買いの対象に。相続や税制の不備により泣く泣く手放すところを、隣国にごっそり召し上げていく。文化財まで空洞化しかねない窮地だ。(114頁)

- 102 社会・文化●情報カブセル
104 入院難民が溢れる都市部
108 リスク増す「首都直下地震」
110 「ジビエ・ブーム」に潜む危うさ——食文化に定着するための「課題」
112 なぜか存在霞む「神道政治連盟」——「安倍の世」なのに退潮の不思議
日本のサンクチュアリ●シリーズ544

古美術品「国外流出」——中国に吸い込まれる

- 外資系の「新薬植民地」に転落
■ゴードマン・サックス日本法人を覆う暗雲——持田「超長期政権」が招いた停滞
■経済●情報カブセル

- 86 日本製薬業の崩壊
88 ニコン「カメラ赤字転落」の煩悶——中台企業に買われる末路へ
90 パソナが「リストラ商売」で大儲け——人材政商栄えて労働者が泣く國に
92 皇室の風——岩井克巳
94 日本の科学アラカルト
96 新連載 新・大学評判記
98 本に遇う——河谷史夫
100 をんな千一夜——石井妙子
118 マスコミ業界ばなし

経 済

- 64 米国株高は今年も続きそう
■スアルス金融緩和・米連銀が下支え
66 地方放送局「再編」は待ったなし——延命の道は「地域連合」のみ
68 日本石油に回帰するJXTG
■傍流子会社を襲う「処分と肃清」

- 71 連載(企業研究) ■三菱電機
72 連載(企業研究) ■自殺者続出の「非人道的」社風
76 ゴードマン・サックス日本法人を覆う暗雲——持田「超長期政権」が招いた停滞
78 経済●情報カブセル
82 連載(地方金融の研究) 广島市信用組合——大いに「証あり」の十七年連続増益
84 三井住友銀が融資先「裏切り」の非情——乾汽船「株買い占め」に加担
86 日本製薬業の崩壊
88 ニコン「カメラ赤字転落」の煩悶——中台企業に買われる末路へ
90 パソナが「リストラ商売」で大儲け——人材政商栄えて労働者が泣く國に
92 皇室の風——岩井克巳
94 日本の科学アラカルト
96 新連載 新・大学評判記
98 本に遇う——河谷史夫
100 をんな千一夜——石井妙子
118 マスコミ業界ばなし

政 治



「4選固辞」の安倍の理想は、余力を残しての五輪後退陣と「岸田政権」での院政。「憲議阻止」で動く菅義偉との確執は隠しようがない。後継争いがもつれる展開となれば、安倍は辞め時を失する可能性も。(48頁)

- 48 安倍九月退陣の潮目
■政治●情報カブセル
44 「ボスト安倍」は岸田なのか——「混戦模様」総裁レースの見所
46 「官邸分裂」で政局の一年に
52 連載(政界スキャン) 菅義偉「絶頂」から「失權」までの軌跡
54 野党再興の鍵握る保守政治家一人
■中村喜四郎と小沢一郎の異床同夢
56 憲法学者が突く「安倍改憲」の欠陥
■東大本流に生まれた「九条抜本改正」論
58 連載(罪深きは)の官僚
鈴木康雄(総務省元事務次官)——古巣の危機招いた「日本郵政のドン」

民主党候補の顔ぶれをみての「トランプ再選」観測。逆に民主党の政権奪還により、「普通の米国」に戻るという展望。いずれも見立てが甘い。確かなのは、誰が大統領でも「異なる米国」が続くことだ。(6頁)

WORLD

- 12 世界経済「大分断」の時代
■対米依存「過剰」は破滅の道
14 米社会に広がる医療費「債務地獄」——「億三千七百万人が「借金苦」に
16 英国をさらに「爆買い」する中国——EU離脱で「紅い資本」頼みが鮮明に
18 WORLD●情報カブセル
22 リビア内戦は「東地中海紛争」に拡大
■周辺国と主要国が続々「介入」
24 ロシアの闇部隊「29155」の実像——「マモ多い」「凶悪特務機関」
28 米中が南米で「リチウム争奪戦」——「ボリビア左派政権「転覆」の深層
30 北朝鮮ミサイル技術飛躍的進歩の裏側
■主導する「旧ソ連外人部隊」
32 習近平を悩ます「情報機関」の凋落——スパイの相次ぐ失態と「裏切り」
34 デジタル人民元の脅威
■中国経済支配圏「大拡張」の切り札
38 連載(現代史の言霊) 月の斬首——メツカ大モスク占拠事件(一九七九年)
32 習近平を悩ます「情報機関」の凋落——スパイの相次ぐ失態と「裏切り」
34 デジタル人民元の脅威
■中国経済支配圏「大拡張」の切り札
38 連載(現代史の言霊) 月の斬首——メツカ大モスク占拠事件(一九七九年)



米大統領選の「盲点」

●特別リポート
——誰が勝っても「トランプ的米国」は続く

3 連載(巻頭インタビュー) ヤン=ヴェルナー・ミュラー——民主主義「再生」の处方箋